



## 平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東  
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 出雲 充  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(3454)4907  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	11,136	8.8	△1,516	—	△1,260	—	△1,365	—
29年9月期第3四半期	10,231	25.1	420	△47.8	615	△39.7	424	△43.5

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 △1,373百万円 (—%) 29年9月期第3四半期 424百万円 (△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	△16.06	—
29年9月期第3四半期	5.12	5.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	21,035	15,792	75.0
29年9月期	18,858	15,655	82.9

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 15,773百万円 29年9月期 15,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.0	△1,800	—	△1,500	—	△1,650	—	△19.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	85,795,072株	29年9月期	84,389,616株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	137,901株	29年9月期	137,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	85,015,147株	29年9月期3Q	82,953,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、エネルギー・環境業界においても、地球温暖化防止に向けた世界的な取り組みが広がる中、バイオ燃料を始めとする再生可能エネルギーに対する需要が高まっております。このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、ユーグレナの食品としての新機能性解明、ユーグレナ等を利用したバイオ燃料の開発、ユーグレナの生産コストの低減に関連する研究開発等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、上半期において売上の基盤となる直販の定期購入顧客を獲得するための広告宣伝投資を積極的に実施したものの、集中投資を実施した直販化粧品に関して定期購入顧客のリピート期間、回数が想定を下回ったのを踏まえ、下半期においては広告宣伝投資を縮小して販売効率の改善に努めました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,136,140千円(前年同期比8.8%増)、営業損失は1,516,057千円(前年同四半期は営業利益420,626千円)、経常損失は1,260,192千円(前年同四半期は経常利益615,210千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,365,678千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益424,480千円)となりましたが、当第3四半期連結会計期間の営業損失は404,851千円(前四半期は営業損失681,073千円)、経常損失は363,031千円(前四半期は経常損失532,839千円)となり、当第2四半期連結会計期間と比べて赤字幅が縮小しました。

なお、前第3四半期連結会計期間から当第3四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は、以下のとおりです。

	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
売上高(千円)	3,603,410	3,654,891	3,449,697	3,729,485	3,956,956
営業損益(千円)	143,491	530,310	△430,132	△681,073	△404,851
経常損益(千円)	168,949	592,024	△364,320	△532,839	△363,031

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の直販カテゴリーにおいては、上半期において自社のスキンケア化粧品ブランド「one」を中心に積極的な広告宣伝活動を実施してまいりましたが、定期購入顧客のリピート期間、回数が想定を下回る結果となりました。直販定期購入者数は平成30年6月末で29万人を超えておりますが、下半期より、広告宣伝投資を縮小して販売効率の改善に努めております。また、女性向けインナービューティーブランド「eu(イーユー)」の立ち上げ、「one」シリーズの新商品「oneオールイン パワーリフティングクリーム」の発売等、新商品の開発、投入を実施しました。

ヘルスケア事業の流通カテゴリーにおいては、コンビニエンスストア等向けペットボトル飲料「おいしいミドリムシ乳酸菌」の発売、ドラッグストア等向け新ブランド「euglenaStyle+(ユーグレナスタイルプラス)」の立ち上げ等、各チャネル向け商品ラインアップの拡充を進めております。

ヘルスケア事業のM&Aに関しては、ゲノム関連の研究や一般消費者向けの遺伝子解析サービスを手掛ける株式会社ジーンクエストを完全子会社化し、同社と連携してパーソナルヘルスケアのソリューション提供を行う新サービス「ユーグレナマイヘルス」をスタートしております。また、女性を中心とした顧客基盤とブランド力を有する株式会社フックを連結子会社としました。

ヘルスケア事業の研究開発に関しては、新たな食品原料として食品用ユーグレナエキス(熱水抽出)を規格化した他、ユーグレナの食品としての機能性の解明を進めており、ユーグレナ粉末及びユーグレナ特有の成分であるパラミロンの継続摂取により関節リウマチ症状が緩和される効果、ユーグレナ粉末の熱水抽出物をヒト脂肪組織由来幹細胞に添加することで脂肪滴の蓄積を抑制する効果、並びにユーグレナ粉末を摂取することで老化等に伴う筋萎縮症状を抑制する効果を示唆する研究結果を公表いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、連結売上高11,128,640千円(前年同期比8.8%増)、セグメント損失は500,071千円(前年同四半期はセグメント利益1,108,012千円)となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に研究開発活動を継続しております。

当第3四半期連結累計期間においては、平成30年10月に完成を予定しているバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの運転開始に向けて体制の整備を進めております。また、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、多気クリスタルタウン(三重県多気郡多気町)において燃料用微細藻類

培養プールを建設し、さらに先進的な大規模あぜ型微細藻類培養プールを稼働するなど、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

また、平成30年6月に、ひろしま自動車産学官連携推進会議と共同で、自動車用次世代バイオ燃料の普及拡大を目指す広島での実証事業計画「ひろしま“Your Green Fuel”プロジェクト」を発表しました。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、連結売上高7,500千円(前年同四半期は5,000千円)、セグメント損失は351,976千円(前年同四半期はセグメント損失210,020千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は21,035,917千円となり、前連結会計年度末と比較して2,177,856千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社2社の資産の受入及びのれん2,226,479千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から2,040,136千円増加し、5,242,928千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から137,719千円増加し、15,792,988千円となりました。この結果、自己資本比率は75.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益ともに計画通りに進捗しております。

平成30年5月11日「平成30年9月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,152,864	3,791,569
受取手形及び売掛金	1,260,296	1,346,658
有価証券	200,200	—
商品及び製品	1,107,421	1,481,993
仕掛品	30,603	82,751
原材料及び貯蔵品	423,519	560,183
繰延税金資産	118,169	101,226
その他	354,143	901,422
貸倒引当金	△6,513	△28,775
流動資産合計	10,640,705	8,237,030
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	1,690,964	1,999,964
機械装置及び運搬具	1,012,749	933,521
工具、器具及び備品	285,334	311,750
土地	900,520	900,520
リース資産	32,455	32,455
建設仮勘定	3,670,740	5,616,830
減価償却累計額	△1,567,372	△1,579,742
有形固定資産合計	6,025,392	8,215,299
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,162,283	3,183,488
その他	464,261	675,936
無形固定資産合計	1,626,545	3,859,425
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	180,075	385,334
差入保証金	307,203	255,159
繰延税金資産	21,265	19,852
その他	56,872	63,815
投資その他の資産合計	565,417	724,162
固定資産合計	8,217,355	12,798,887
資産合計	18,858,060	21,035,917

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	288,631	348,158
短期借入金	164,593	362,700
未払金	734,782	931,734
リース債務	1,805	1,056
未払法人税等	289,918	26,576
賞与引当金	31,520	44,524
ポイント引当金	—	53,326
資産除去債務	19,685	—
その他	173,531	331,861
流動負債合計	1,704,468	2,099,938
固定負債		
長期借入金	1,123,297	2,678,527
リース債務	2,019	1,227
退職給付に係る負債	9,012	14,778
資産除去債務	33,932	77,428
繰延税金負債	330,061	364,270
その他	—	6,759
固定負債合計	1,498,323	3,142,990
負債合計	3,202,792	5,242,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424,242	5,424,242
資本剰余金	7,568,557	9,080,458
利益剰余金	2,876,847	1,511,168
自己株式	△231,396	△231,396
株主資本合計	15,638,251	15,784,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	△256
為替換算調整勘定	△12,226	△10,936
その他の包括利益累計額合計	△12,117	△11,193
新株予約権	17,232	16,087
非支配株主持分	11,902	3,620
純資産合計	15,655,268	15,792,988
負債純資産合計	18,858,060	21,035,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	10,231,711	11,136,140
売上原価	2,640,650	2,865,020
売上総利益	7,591,061	8,271,119
販売費及び一般管理費	7,170,435	9,787,177
営業利益又は営業損失(△)	420,626	△1,516,057
営業外収益		
受取利息	15,600	6,850
助成金収入	127,091	193,511
受取手数料	23,010	21,834
持分法による投資利益	19,293	22,109
その他	19,517	17,338
営業外収益合計	204,513	261,644
営業外費用		
支払利息	2,325	4,753
株式交付費	6,964	298
その他	640	727
営業外費用合計	9,929	5,779
経常利益又は経常損失(△)	615,210	△1,260,192
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,048
固定資産売却益	—	864
特別利益合計	—	1,912
特別損失		
固定資産売却損	1,699	879
特別損失合計	1,699	879
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	613,511	△1,259,159
法人税、住民税及び事業税	245,592	68,642
法人税等調整額	△53,180	47,854
法人税等合計	192,412	116,496
四半期純利益又は四半期純損失(△)	421,098	△1,375,655
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,381	△9,977
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	424,480	△1,365,678



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	421,098	△1,375,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△365
為替換算調整勘定	3,326	2,618
その他の包括利益合計	3,270	2,252
四半期包括利益	424,369	△1,373,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,979	△1,364,754
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,610	△8,648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,226,711	5,000	10,231,711	—	10,231,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,226,711	5,000	10,231,711	—	10,231,711
セグメント利益又は損失(△)	1,108,012	△210,020	897,992	△477,365	420,626

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△477,365千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、株式会社クロレラサプライを平成28年12月1日付で子会社化したことにより、のれんが255,760千円増加しております。また、ヘルスン株式会社を平成29年6月1日付で子会社化したことにより、のれんが289,238千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	11,128,640	7,500	11,136,140	—	11,136,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,128,640	7,500	11,136,140	—	11,136,140
セグメント損失(△)	△500,071	△351,976	△852,047	△664,010	△1,516,057

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△664,010千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、株式会社ジーンクエスト及び株式会社フックを子会社化したことにより、それぞれのれんが648,904千円及び1,577,575千円増加しております。